

聴音・ソルフェージュ

B課題(弦楽器・管楽器・打楽器・ハープ・古楽器・声楽・作曲(編作曲コース)・音楽学専攻)

新曲視唱

ピアノ伴奏付きで行われる。

ピアノで終止形が与えられ、その後20秒程度の黙読が許される。

和声聴音

- H-I それぞれの和音の下声部が与えられ、三和音と七の和音(共に基本形)を聴き取る。
演奏は、下声部の音を弾き、続いて和音全体を2回ずつ弾く。
- H-II 三声の和声聴音課題
(a)、(b)とも和音の下声部が与えられる。また調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏3回とする。
- H-III 三声(ソプラノ・アルト・バス)の和声聴音課題
調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏4回とする。
- H-IV 四声密集形の和声聴音課題
H-IIIと同様に調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏6回とする。
- H-V 四声開離形の和声聴音課題
演奏はH-IVと同様に行われる。

旋律聴音

各課題とも、調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示される。

- M-I 演奏は通奏1回、前半を3回、通奏を1回、後半を3回、通奏1回の順で実施される。
- M-II 複旋律の聴音課題
演奏はM-Iと同様に行われる。
- M-III 暗記の課題。通奏4回。その間、受験生は筆記をせず、4回目を弾き終わった後、筆記開始となる。

S-I

Andantino

mp *mf*

mp *rit.*

S-II

Moderato

う た

mf

ピアノ

mp

p

f

mf

p

mf

p

mf

mp

mf

rit.

dim.

p

mf

rit.

dim.

H-I

三和音 →

七の和音 →

H-II

(a) a moll 2分の2拍子

(b) B dur 2分の2拍子

H-III 三声 (ソプラノ アルト バス)

c moll 2分の2拍子

H-IV 四声体 (密集)

D dur 2分の2拍子

H-V 四声体 (開離)

g moll 2分の2拍子

M-I F dur 4分の4拍子 (単旋律)

Moderato

M-II h moll 4分の3拍子 (二声)

Andante

M-III G dur 8分の6拍子 (暗記)

Allegretto